

社会資本総合整備計画 事後評価書 (H25-P4)

平成 30 年 3 月 31 日

[illegible]

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28			
4-C-1	調査	一般	京都市	直接		京都市	橋りょう点検	点検	京都市						25	
4-C-3	調査	一般	京都市	直接		京都市	道路ストック点検（橋りょう、補助国道）	点検	京都市						3	
4-C-4	調査	一般	京都市	直接		京都市	道路ストック点検（橋りょう、地方道）	点検	京都市						55	
合計														83		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
4-C-1	橋りょう点検により、現状を把握し、異常や損傷を早期に発見し、橋りょうの長寿命化、修繕コストの縮減を図る。															
4-C-3	橋りょう点検により、現状を把握し、損傷状態を把握するための補助国道に架かる橋りょうの点検を実施し、第三者の被害の防止を図る。															
4-C-4	橋りょう点検により、現状を把握し、損傷状態を把握するための地方道に架かる橋りょうの点検を実施し、第三者の被害の防止を図る。															
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						・ 国道162号など緊急輸送道路上の橋りょう（橋長15m以上）の耐震補強を行ったことにより、災害時における避難ルートや道路ネットワークの確保を行った。 ・ 橋りょうを適切に管理することにより、安全・安心な市民生活の実現に向けた道路ネットワーク機能を確保した。										
Ⅱ 定量的指標の達成状況						指標①（優先的 （～平成28年度） に耐震補強等を行 う橋りょうの対策 完了率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	・ 厳しい財政状況のなか、限られた財源で事業を実施したため。 ・ 関係機関との協議に時間を要したため。						
							最終実績値	82%								
						指標②（特に老朽 化修繕を急ぐ（～平 成28年度）必要があ る橋りょうの対策 完了率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	・ 厳しい財政状況のなか、限られた財源で事業を実施したため。 ・ 関係機関との協議に時間を要したため。						
							最終実績値	85%								
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）																
3. 特記事項（今後の方針等）																
今後は、社会資本総合整備計画「京都市における道路施設の適切な健全化対策の推進（防災・安全）」に基づき、優先的に耐震補強を行う橋りょう、特に老朽化修繕を急ぐ必要がある橋りょうについて、対策の取組を着実に推進していく。																

社会資本総合整備計画 参考図面 (H 2 5 - P 4)

